

専門実践教育訓練明示書（岐阜県立衛生専門学校）

講座の名称	歯科衛生学科																
実施方法	① 通学 (昼間) 夜間・土日) ② 通信 スクーリング(回数 回)																
指定講座番号(15桁)	2	1	1	0	0	0	1	—	1	5	1	0	0	4	1	—	1
講座の創設年月日	専門実践教育訓練給付金対象講座の指定期間					過去一年の講座実績			入講者数(18人)				修了者数 (17人)				
昭和56年 4月 1日	令和9年3月31日まで																
訓練期間	36ヶ月							総訓練時間				2,865時間					

1. 教育訓練目標

①取得目標とする資格の名称、目標レベル	<input checked="" type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格 () <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程 () <input type="checkbox"/> キャリア形成促進プログラム () <input type="checkbox"/> 専門職大学院 () <input type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム () <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格 () <input type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座 () <input type="checkbox"/> 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科 () 教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等 歯科衛生士国家試験資格
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	厚生労働省
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	厚生労働省の指定する養成施設又は文部科学省の指定する学校で所定の学問の理論と実技を習得し、修了すること。
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況	歯科衛生士(病院、歯科診療所 等)

2. 教育訓練の内容

教科 (カリキュラム)		時間	使用教材名
基礎分野	生物学	30	歯科衛生学シリーズ 生物学 (医歯薬出版)
	化学	30	歯科衛生学シリーズ 化学 (医歯薬出版)
	心理学	30	歯科衛生学シリーズ 心理学 (医歯薬出版)
	社会学	30	系統看護学講座 基礎分野 社会学 (医学書院)
	英語	30	SIDE by SIDE Book2 (ロングマン)
	コミュニケーション論	15	
	芸術	15	
	倫理学	15	
	保健体育	30	
	情報リテラシー	15	
専門基礎分野	解剖学	30	
	組織・発生学	15	歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学(医歯薬出版)
	生理学	30	
	栄養学 I・II	60	歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能2 栄養と代謝(医歯薬出版) 等
	口腔解剖学	30	歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学(医歯薬出版)
	口腔生理学	15	
	生化学	30	歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能2 栄養と代謝(医歯薬出版)
	病理学(口腔病理学含む)	30	歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進1 病理学・口腔病理学 (医歯薬出版)
	薬理学 I・II (歯科薬理学含む)	45	歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進3 薬理学 (医歯薬出版)
	微生物学 I・II (口腔微生物学含む)	45	歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 微生物学 第2版 (医歯薬出版)
	口腔衛生学 I・II	45	歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学 (医歯薬出版)
	衛生統計	30	歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み3 保健情報統計学 (医歯薬出版)
	衛生学・公衆衛生学 I・II	30	歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学 (医歯薬出版) 等

衛生行政・社会福祉	30	歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み2 保健・医療・福祉の制度 (医歯薬出版) 他
-----------	----	--

専門分野	歯科衛生士概論Ⅰ・Ⅱ	45	歯科衛生学シリーズ 歯科衛生学総論（医歯薬出版）等
	歯科保存修復学	30	歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学（医歯薬出版）
	歯内療法学	30	
	歯周療法学	15	歯科衛生学シリーズ 歯周病学（医歯薬出版）
	歯科補綴学	30	歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学（医歯薬出版）
	歯科矯正学	15	歯科衛生学シリーズ 歯科矯正学（医歯薬出版）
	口腔外科学Ⅰ・Ⅱ	45	歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学（医歯薬出版）
	小児歯科学	30	歯科衛生学シリーズ 小児歯科学（医歯薬出版）等
	歯科放射線学	15	歯科衛生学シリーズ 歯科放射線学（医歯薬出版）
	障害者・高齢者歯科学	30	歯科衛生士講座 高齢者歯科学 第3版（永末書店）等
	歯科予防処置基礎	60	歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論（医歯薬出版）等
	専門分野	歯周病予防処置Ⅰ	60
歯周病予防処置Ⅱ		60	
歯周病予防処置Ⅲ		30	
う蝕予防処置		30	歯科衛生士のための齲蝕予防処置法 第2版（医歯薬出版）
歯科保健指導基礎		30	歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論（医歯薬出版）等
歯科保健指導Ⅰ（口腔清掃法）		30	
歯科保健指導Ⅱ（対象別・症例別把握法）		30	
歯科保健指導Ⅲ（小集団指導法）		30	
歯科保健指導Ⅳ		30	
歯科健康教育Ⅰ・Ⅱ		75	
歯科診療補助基礎		45	歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論（医歯薬出版）等
歯科診療補助Ⅰ		90	
歯科診療補助Ⅱ		90	
歯科診療補助Ⅲ		90	
材料器械		15	イラストと写真でわかる歯科材料の基礎 第4版（永末書店）
臨床検査法		15	歯科衛生学シリーズ 臨床検査（医歯薬出版）
臨床実習Ⅰ		45	
臨床実習Ⅱ（歯科診療所）		135	
臨床実習Ⅱ（病院）		90	
臨床実習Ⅲ（歯科診療所）①②③		270	
臨床実習Ⅲ（病院）①②	180		
臨地実習Ⅰ	90		
臨地実習Ⅱ（保健所・保健センター）	90		
選択必須分野	歯科英語	15	歯科衛生学シリーズ 歯科英語（医歯薬出版）
	受付対応	15	デンタルスタッフのためのクリニカルマナー 歯科医院における受付・患者対応と事務（医歯薬出版）
	社会保険・請求事務	15	最新保険診療マニュアル（岐阜県歯科医師会）等
	関連医学	30	歯科衛生士のための全身疾患チェアサイドBOOK（クインテッセンス出版）
	看護・介護技術	30	
	手話	15	今すぐはじめる手話テキスト 聴さんと学ぼう！（全日本ろうあ連盟）
	接遇作法	15	
	研究	30	

3. 受講者となるための要件（この講座を受講するために必要とされている条件など）

①受講するに当たって必要な実務経験等	特になし
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	高等学校卒業以上
③その他	

〔特記事項〕

--

専門実践教育訓練明示書(岐阜県立衛生専門学校)

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1) 資格取得状況

① 前年度の修了者数	17	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	18	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	17	人	受験率(③/②)	94.4	%
④ ③のうち合格者数	16	人	合格率(④/③)	94.1	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	17	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	0	人	就職・在職率(⑤+⑥/②)	94.4	%

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。

この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含まない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

(2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数	17	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	人	②A: 就業者計		
	2 非正社員、派遣社員	人			
	3 その他の就業(自営業等)	人	0人		
	4 非就業	17	人	②B: 非就業者計	
③ 受講開始前と現在の就業先の変化	1 受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)		
	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる(転職)	人			
	3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	人			
④ 受講後の就業形態	1 正社員	17	人	④A: 就業者計	
	2 非正社員、派遣社員	人	人		
	3 その他の就業(自営業等)	人	人	17人	
	4 非就業者	人	人	④B: 非就業者計	
⑤ 受講後の賃金変化	1 3割以上増加した	人	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下)		
	2 1割以上3割未満増加した	人			
	3 1割未満増加した	人			
	4 変わらない	人			
	5 1割未満減少した	人			
	6 1割以上3割未満減少した	人			
	7 3割以上減少した	人			
⑥ 講座の受講の効果	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	3	人	⑥の回答数合計	
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	1	人		
	3 社内外の評価が高まる	2	人		
	4 早期に転職・再就職できる	1	人		
	5 希望の職種・業界に転職・再就職できる	1	人		
	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職できる	3	人		
	7 趣味・教養に役立つ	人	人		
	8 その他の効果	人	人		
	9 特に効果はない	12	人		
⑦ 受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	17	人	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	人	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	人	人		
	4 就職していない	人	人		
⑧ 講座の全体評価	1 大変満足	6	人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	
	2 おおむね満足	5	人		
	3 どちらとも言えない	6	人		
	4 やや不満	人	人		
	5 大いに不満	人	人		

(3)受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価 等)	
5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法	
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法 (通信制講座の場合)	歯科衛生士国家試験の受験
スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	

専門実践教育訓練明示書（岐阜県立衛生専門学校）

6. 受講効果の把握方法																		
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的基準)	出席率66%(2/3)以上、試験合格率得点率60%以上で合格、補講・追試は認める。																	
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	ペーパーテスト及び演習																	
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	出席率66%(2/3)以上、試験合格率その他、補講・追試はその他修了認定に補講・追試験制度がない																	
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	卒業単位を満たすこと																	
7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法																		
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	学生の習得度、理解度に応じて、個別の指導、助言を行っている。																	
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 <small>(例: 資格取得関連情報や資格関連職種の人事情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)</small>	受験情報、資格関連の求人情報を常に情報提供している。																	
8. その他の事項																		
指定教育訓練実施者名及び代表者名	岐阜県	(代表者名: 知事 江崎 禎英)																
住所及び連絡先	岐阜県岐阜市藪田南2-1-1	TEL 058-272-1111																
施設名称及び施設長名	岐阜県立衛生専門学校	(施設長: 校長 加藤 直子)																
住所及び連絡先	岐阜県岐阜市野一色4-11-2	TEL 058-245-8502																
苦情受付者	氏名 熊崎 雄一 所属 総務課	事務担当者	氏名 熊崎 雄一 所属 総務課															
連絡先	TEL 058-245-8502	連絡先	TEL 058-245-8502															
専門実践教育訓練経費	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)		428,500 円															
支払い方法 ① 一括払 ② 分割払 ③ 両方可能	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	7,300 円																
	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 50%;"></td><td style="text-align: right;">円</td></tr> <tr><td>第1期</td><td style="text-align: right;">70,200 円</td></tr> <tr><td>第2期</td><td style="text-align: right;">70,200 円</td></tr> <tr><td>第3期</td><td style="text-align: right;">70,200 円</td></tr> <tr><td>第4期</td><td style="text-align: right;">70,200 円</td></tr> <tr><td>第5期</td><td style="text-align: right;">70,200 円</td></tr> <tr><td>第6期</td><td style="text-align: right;">70,200 円</td></tr> <tr><td colspan="2" style="text-align: right;">(うち、必須教材費 円)</td></tr> </table>		円	第1期	70,200 円	第2期	70,200 円	第3期	70,200 円	第4期	70,200 円	第5期	70,200 円	第6期	70,200 円	(うち、必須教材費 円)	
	円																	
第1期	70,200 円																	
第2期	70,200 円																	
第3期	70,200 円																	
第4期	70,200 円																	
第5期	70,200 円																	
第6期	70,200 円																	
(うち、必須教材費 円)																		
	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)		430,000 円															
	① 任意の教材費(税込額)	338,000 円																
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)	円																
	③ 施設維持費(税込額)	円																
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	92,000 円																
	3. 総額 (1+2) (税込額)		858,500 円															